

坂下さん ご苦勞さまでした

組合員のみなさん 国労・ユニオン組合員のみなさん



石北本線・常紋峠 25%

2月20日、主任運転士の坂下則政さんが、47年間の鉄道生活を終えました。坂下さんは国鉄改革のなか、新しい鉄道会社を働き甲斐のある新生JRとするために25年前に、自ら広域異動に応じて東京に転勤してきました。

坂下さんは、「最近、若いのと話をすると、広域異動？ って聞かれることあるんだよな〜」と言っていました。広域異動を知らない皆さん、「三本柱・広域異動・国鉄改革・JR発足」ってなんだろう？ と思ったら是非、先輩か組合役員に聞いてみてください。そして、25年前に何があったのかをしっかりと掴んでください。

無駄だと思いますが、管理者に聞くのも手かもしれませんが、「国鉄時代は組合がストライキを繰り返して仕事もせず、国民から批判されていた。だから国鉄は潰れた」と答えられるでしょう。もしかすると、広域異動 を知らない役員や管理者もいるかも知れません。

坂下さんの基本動作は 完璧でした が

乗務員は、日頃からホームを歩行したり、列車監視時の姿勢や立ち位置を「基本動作」としてとても厳しく「指導」されています。坂下さんは、その指導のとおり基本動作で最後の乗務を終えました。

右の写真は、その一部ですが。駅名と発車30秒前を確認しています。特に、立ち位置に注目してください。坂下さんの、立ち位置は完璧です。

写真は、間違い探しクイズではありませんが、どこかが変？ 過日、同じことを営業科長もしてしまい、添乗された車掌から指摘を受けたと聞きました。



みんなで声を出して 働きやすい職場にしましょう！ 出来ますから